

(別紙様式)

中山間ふるさと・水と土保全対策事業  
中山間ふるさと・水と土保全推進事業

事業実施計画  
(第1回変更)

計画期間：令和2年度～令和6年度

計画内容

1. 事業実施の基本方針
2. 事業計画
3. 事業実施の成果目標と実績
4. 事業評価と対応

青森県

1. 事業実施の基本方針

目標年度	令和6年度
現状と課題	本県の中山間地域は、平成27年時点において、販売農家経営耕地面積で県全体の35.6%を占め、米やりんご、ながいもを中心とした農業生産が営まれている。しかし、近年は、過疎化や高齢化の進展等により、耕作放棄地が県耕地面積の11%となる17,320haと年々増加傾向にあり、また、総農家数も前回調査から9,682戸、17.9%の減少、平成7年から平成27年までの20年間では約34,000戸が減少するなど、地域の活力が低下し、地域に存在する土地改良施設の維持保全にも支障が生じてきている。 また、こうした中山間地域（棚田地域）の地域力の低下は、農地や土地改良施設の機能維持を困難にしているだけでなく、農村の有する豊かな自然環境をも損ないつつある。
事業実施の基本方針	本県の農業農村整備の展開方向を定めた「あおり水土里づくり推進プラン」では、省力・低コスト化を図る農地の大区画や稲作から野菜などの高収益作物へ転換を可能とする農業生産基盤づくりや農業水利施設の長寿命化、農業・農村の多面的機能の発揮に向けた農村の地域資源の適切な保全管理や農村生活環境の整備等を図ることにより、「豊かで持続可能な農業・農村の実現」を目指していくこととしている。 また、事業の実施に当たっては、国の実施要綱・実施要領のほか上記プラン等本県の方針に基づき、地域活性化に資する調査・研究や地域の豊かな自然環境の再生・保全、農地や農業用水路等の保全活動、保全の必要性の啓発活動等への支援を積極的に推進していく。 これらにより、中山間地域の地域力の維持を目指すこととする。
計画後の目指す姿	「現状と課題」欄にもあるとおり、中山間地域では地域力の低下が大きな課題となっている。 本計画期間では、各種支援により地域力の維持、活性化を目指すこととしており、計画期間終了後には、農村環境や地域力が維持されることで豊かで持続可能な農業・農村が実現されていることを目指す。

2. 事業計画

事業（取組）名	事業（取組）内容	達成すべき目標との関連	事業実施要綱上の該当項目	5ヶ年間の事業（量）内容	総事業費（千円）
農地等の多面的機能の良好な発揮に資する取組	畑作物・果樹の新品種栽培、農作物への鳥害対策、農作業の省力化に係る新技術導入等の取組実証に係る支援	①、②	ふる水第3-2-(1)	・南方果樹等栽培実証 ・ブドウ園での鳥害対策実証 ・ブドウ園での自動草刈機走行実証 ・希少品種「オコッペいもっこ」栽培実証	10,000
	安全・安心な農林水産物の生産の基礎となる「水資源」を保全・継承していくため、次代を担う小学生、生産者、県民（消費者）それぞれを対象とした啓発や情報発信を行う「互いに学び支える水循環システム保全事業」に対する支援	③	ふる水第3-2-(2)	・体験学習 ・学習成果発表会 ・県民向けバスツアー開催	8,000
	地域住民や農家等が地域の活性化を図るために、土地改良施設の直営施工作業を行うことに対する資材提供による支援	①、③	ふる水第3-2-(3)	・農業水利施設等の改修等共同活動	15,000
中山間地域の維持・保全、活性化に向けた取組	ふるさと水と土指導員を育成するための「ふるさと水と土基金全国研修」への参加や、調査研究事業に取り組む人材の育成に必要な各種研修の実施、参加	②	ふる水第3-2-(2)	・ふるさと水と土基金全国研修会参加等	2,500
	地域づくりにファシリテーション能力を発揮する女性人材の育成を行う「地域共生社会を支える農山漁村女性活躍モデル事業」に対する支援	①、②	ふる水第3-2-(2)	・コミュニティリーダー養成講座 ・先行事例研修 ・地域ネットワーク研修	9,000
	受入農家の質の向上を目的とした講座・研修の実施、国内外の農泊PR及びニーズ調査を実施する「農泊受入対策事業」への支援	①、②	ふる水第3-2-(2)	・農泊受入農家向け講座・研修会 ・農泊PR及びニーズ調査	9,000
	第三者委員会による基金事業への助言	③、④	ふる水第3-2-(3)	・青森県農村地域資源の保全管理の推進に関する第三者委員会	500
	中山間地域の農地や土地改良施設の保全対策事業の必要性等の啓発・普及のための図書購入し及び県内関係機関への配布	③	ふる水第3-2-(3)	・「新・田舎人」購入・配布	300
	本県の農産物を生産する基盤が地域の人の手や公共事業によって守られているという環境公共の考え方を啓発・普及するための体験型イベントの実施	③	ふる水第3-2-(3)	・農業水利施設見学 ・農業、収穫体験 ・県産農林水産物調理体験	7,500

事業（取組）名	事業（取組）内容	達成すべき目標との関連	事業実施要綱上の該当項目	5ヶ年間の事業（量）内容					総事業費（千円）	
中山間地域の維持・保全、活性化に向けた取組（続き）	農地や土地改良施設の機能維持や利活用、それらの多面的機能の良好な発揮に係る集落活動に対する支援	③	ふる水第3-2-(3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・稚魚の放流体験</li> <li>・植栽活動</li> <li>・草刈、清掃活動</li> <li>・自然体験学習</li> </ul>						25,000
	農地等の持つ多面的機能や美しいふるさを保全する地域活動の重要性を、広く一般に啓発するために土地改良区等が実施する活動に対する支援	③	ふる水第3-2-(3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設見学</li> <li>・清掃活動</li> <li>・体験学習</li> <li>・ウォーキングイベント</li> </ul>						3,000
棚田地域の多面的機能の良好な発揮に資する取組	棚田地域の維持・保全、利活用に対する県民の理解醸成に向けた情報収集のための各種研修会等への出席、派遣	④	棚田第3-2-(1)	・各種研修会等への参加、現地調査						1,000
	棚田地域等の農地等の保全に対する県民意識の向上を目的とした写真コンテスト、写真展の開催に対する支援	④	棚田第3-2-(2)	・写真コンテスト、写真展の開催						2,500
	棚田地域の農地や土地改良施設の保全対策事業の必要性等の啓発・普及のための図書購入及び県内関係機関への配布	④	棚田第3-2-(2)	・「新・田舎人」購入・配布						450
	棚田地域の多面的機能の良好な発揮に資するため、維持管理作業の負担軽減を目的に、スマート農業技術を活用した実証事業を行う	④	棚田第3-2-(2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラジコン草刈り機による法面等の管理作業の省力化等実証試験</li> <li>・ドローンによる薬剤散布の省力化・効率化実証試験</li> </ul>						11,000
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	104,750	
				(単位：千円)						
中山間ふるさと・水と土保全対策事業（ふる水基金）	計画事業費			19,294	19,600	19,000	18,000	18,000		
	(実績額)			(14,382)						
中山間ふるさと・水と土保全推進事業（棚田基金）	計画事業費			806	2,282	2,790	2,790	2,400		
	(実績額)			(499)						



#### 4. 事業評価と対応

達成すべき目標	事業実績の評価		備考
	外部有識者の所見	所見を踏まえた改善方針	
① 中山間地域の農地及び土地改良施設の利活用及び保全・管理等に資する調査・実証	・ 県民みんなで農業、農村地域を支えていくことを目指し、充実した取組が行われているという印象。県の農業の取組と連動させた取組としていくことで、農業県である青森県の全体像を見せることができると良いと感じる。(R2講評)	・ 農業を営むことで発現する農地等の多面的機能について、本基金による取組と本県の農業と連動させたPR方法等について検討する。(R2)	
② 中山間地域の活性化に関する活動を行う人材の育成	上記①と共通 (R2講評)	上記①と共通 (R2)	
③ 中山間地域の住民活動による地域資源の維持・保全、地域コミュニティの活性化	上記①と共通 (R2講評)	上記①と共通 (R2)	
④ 棚田地域の農地の維持・保全を通じた地域振興	・ フォトコンテストの写真が良いものばかりなので、これらの写真を複数の媒体で活用し、視覚的に幅広くPRすることで棚田(中山間)地域の保全等の活動につなげる更なる活用方法の検討が必要。(R2講評)	・ 今後は、複数のツールを連携させた幅広いPR方法を検討する。(R2)	